

常新新聞

刊々日六十月八

第一金武銭 廣五十二行 休日大衆 郵局在東京市本町三丁目三番 電話六三〇番
 第二金武銭 廣五十二行 休日大衆 郵局在東京市本町三丁目三番 電話六三〇番
 第三金武銭 廣五十二行 休日大衆 郵局在東京市本町三丁目三番 電話六三〇番

日刊 發行所 東京市本町三丁目三番 電話六三〇番
 印刷所 東京市本町三丁目三番 電話六三〇番
 社名 常新新聞社
 社址 東京市本町三丁目三番 電話六三〇番
 電話 六三〇番

寄書

(三) 國家のため深憂痛憤生

今日の場合に當つて金解禁を断行しようとするれば常識を以てしてどうしても債券や株式の下落を豫想せざるを得ぬ、特に政府の極端なる緊縮政策は我國の産業界に絶大の衝動を與ふるものと勿論である。それをしても忍むで其聲明を断行せむとするに就ては必ずや政府に於ても腹の底に何事か決する處がなくはならぬ道理である。井上藏相の如きは

来るべき不景氣は、止むを得ぬものとして明言して居られる。その所謂不景氣の結果は果して如何に成り行くべきであらうか言ふまでもなく先づ苦むものは大多數の民衆である。それから中産階級の商工業者や農民である。さうして最後までこの逆境に堪え忍び得て幸にこの政策による利益ありとすればその利益を獲得すべきものは必ずや極めて少数なる資産家であると云ふことにならねばならぬ。實を言ふと現内閣では腹の中に十分この事を知り抜いて居るのであるまいかどう考へて見ても井上藏相は、

何れまでも大銀行家である失禮ながら到底政治家ではない全く休業銀行整理の頭を以て我國の財政に臨まむとして居られるやうに思はれる。自分は今日に當つては寧ろその言明の矛盾を責めむとするよりも切に國家のため深憂に堪えぬもの、あることを告白する

(をはり)

平町組屋町(縣社通り)
 美味イノキ食堂
 評判
 オの部電話四六〇番

中元 贈答日御案内

体裁優美な

- 箱入タオル 卅六錢位ヨリ
- 箱入半布 七十錢位ヨリ
- 箱入靴下 一圓廿錢位ヨリ
- ボイルシャツ 一圓二十錢位ヨリ
- 絹シャツ 二圓三十錢位ヨリ
- 特製赤箱石鹸 二十五錢
- 三ヶ入 五十錢
- 半打入 五十錢

其ノ他各種 便利な商品券を 御利用下さい

ツルヤ

電話百四十番

看護婦派遣

の求めに應ず

平看護婦會

電話三〇七番

香掛時次郎

更新の意氣満天下を壓す我等の快男子女目

主演 大星内河 次郎

監督 菅 昌 監督 生先伸川谷長

原 作 酒井米子 葛本香 尾上桃華 中山介 次郎

紅屋の娘

親に對し私し達がどんなに孝行しても親達が私し達に與へてくれぬ聖愛を見る時あまりに小さいものではある

説明……若月 柯村

入二席大四〇〇 小一〇〇
 場壹等席大五〇〇 小二〇〇
 料特等席大六〇〇 小三〇〇

日活平館
 電話四六六

水戸黄門

東海道 水戸黄門 卷十五

主演 市川右太衛門 桂木洋子 阪東妻三郎 谷村昌彦 桂木洋子 阪東妻三郎 谷村昌彦

助演 市川右太衛門 桂木洋子 阪東妻三郎 谷村昌彦 桂木洋子 阪東妻三郎 谷村昌彦

梅毒 淋病

皮膚病 婦人病 淋病 腸胃病

門專

院醫科 腸胃病 胃性病 村松

電話一七〇

吹雪峠

千草 品子 關 操 助演

淺ましき人の世の姿を描いて盡す湧き出る痛ましき哀調の剣と戀の繪巻

説明……林 樂 遊

多田井ワカ商店

公債、兩替 債券、質商

平町大工町

吉田眼科醫院

提灯

大勉強!! 大安賣!!

是非御用命を乞ふ

平町一丁目日進堂隣(電話呼三三三三)

提灯

善勝院壽翁明延善清居士本年新盆に相當仕候へ共時節柄に鑑み生前の遺志に基き提灯其他供物御遠慮申上度此段謹告候也

平町三丁目

鈴木 義 忠

多田井ワカ商店

公債、兩替 債券、質商

平町大工町

許婚大學生の 不治の病を苦しむ

磐女卒業二十の身が 共済病院で服毒自殺

石城郡川部村大字沼部字鳴澤義虎の三女芳賀八百(二)は許婚の間柄である法政大學一年生同村楠田廣次(三)が肺結核で本年六月十五日に平町磐城共済病院に入院した爲め附添として看護中の處病勢が一向に減退しないので世を果敢なみ昨夜十一時頃病人の静かに寝つて居る枕元で昇永水を多量に嚥下し自殺した因に八百は一昨年磐城高等女學校を卒業し楠田の卒業を待つて結婚の式を挙げる筈であつた由にて遺書の如きは一本も認めてない。

手を焼く 平税務署

平税務署では印紙税の一世い検査で五百餘件の違反を検査したが更に嚴重な検査をなし違反の撲滅を計らんと一週間にわたつて集合検査を行つて所百餘件の違反を發見し如何に嚴重な取締をなしても違反の盡きないの當局もほとんど手を焼くき今後の取締方針につき頭をなやまして居る

石城郡下の 麥酒愛好者

受渡しを了る

石城郡下のビール愛好者は作柄極めてよく漸く收穫をおへ十三日ビール會社から出張の月崎技師検査の上受渡しを了した等級は一等七俵二等十五俵三等十一俵計卅三俵で相場は七月廿七日乃至八月十五日までの廿日間における深川雜穀問屋筋取引の茨城縣検査普通麥正味の卅俵半相場に比し一等は三割二分、二等三割三厘二

農作物蘇生

平町から給水

けふ夜明け前から降り出した雨は颱風の氣味にて豪雨となり干天續きに生色なかつた

自動車道順を變更 舊盆の夜の平町

舊盆祭三日間の平町に於ける難路取締と同時に自動車の交通事故なからしむる爲め平署にては既記の如く夜の自動車の制限を厳しめる筈であるが各營業者に對し町内に於ける運轉系統を左記の如く變更すべく嚴重に示達した由

十圓を引抜く 鮮人の坑夫より

トランクから

石城郡内郷村大字高坂御殿山居住伊達郡小國村大字清水生れ炭坑後山栗山金四郎(三)は十四日午後四時卅八分頃同村坑夫鮮人田中文雄のトランクから現金十圓を窃取し平署稟原刑事に逮捕さる

平支部の 自動車協議

けふ臨時總會

本縣自動車協會平支部にては本日午後二時より平署樓上に於て臨時總會を開き左記事項を協議したと

喧嘩の道具 無法男の乱暴

石城郡内郷村大字宮字峯根居住安積郡穂積村生れ坑夫渡邊謙治(三)は去る八日午後七時頃同村矢内ナツ(三)の家の前を流れる下水に瓦斯

中元贈答品値段 (下)

和洋酒類及 清涼飲料小

- 白鶴四合壺一本 九十五
- 五錢 月桂冠同 九十五
- 五錢 櫻正宗同 九十五
- 白鹿同 九十五
- 同 六十五
- 同 五十五
- 同 四十五
- 同 三十五
- 同 二十五
- 同 十五
- 同 十
- 同 五
- 同 三
- 同 二
- 同 一

食料品及調味料

- 一本徳用壺一圓六十錢小壺五十錢
- 五錢 芥及レモン
- 四錢 芥
- 三錢 芥
- 二錢 芥
- 一錢 芥
- 五錢 小鳥罐詰一罐
- 三錢 小鳥罐詰一罐
- 二錢 小鳥罐詰一罐
- 一錢 小鳥罐詰一罐
- 五錢 小鳥罐詰一罐
- 三錢 小鳥罐詰一罐
- 二錢 小鳥罐詰一罐
- 一錢 小鳥罐詰一罐

金物類

- より二圓 淺草海苔一張
- 一圓 淺草海苔一張
- 五錢 淺草海苔一張
- 三錢 淺草海苔一張
- 二錢 淺草海苔一張
- 一錢 淺草海苔一張
- 五錢 銅湯沸
- 三錢 銅湯沸
- 二錢 銅湯沸
- 一錢 銅湯沸
- 五錢 銅湯沸
- 三錢 銅湯沸
- 二錢 銅湯沸
- 一錢 銅湯沸

漆器

- より二圓五拾錢 鐵製夏火鉢同七拾五錢より八拾五錢
- より一圓 鐵製夏火鉢同七拾五錢より八拾五錢
- より五錢 鐵製夏火鉢同七拾五錢より八拾五錢
- より三錢 鐵製夏火鉢同七拾五錢より八拾五錢
- より二錢 鐵製夏火鉢同七拾五錢より八拾五錢
- より一錢 鐵製夏火鉢同七拾五錢より八拾五錢

明日の 豫氣天

南東の風
雨模様
だ海も山
も荒模様

頭から汁鍋 遂に死亡

石城郡山田村字小山田大内(三)は去る十三日午後七時ごろ勝手許において母親が井戸端に立つた際煮え立つた汁鍋を全身に浴び大火傷を負ひ十四日午後三時半死亡した

赤井岳參道 縣道編入の陳情

赤井岳參道の境内と附近山林一帯を禁獵區にし頂上に大規模のグラウンドを建設して大遊園地化さんと若松縣議と赤井村民等が計畫を進め既に金華山から鹿を移植し近くグラウンドの建設工事に着手することになつた

募集

たがこの計畫實施の先決問題である赤井岳參道の縣道編入につき縣に再三陳情したが今日に至るも實現を見ないので來る二十日頃若松縣議と地元民が再度出縣促進運動を行ふことになつた

士用武道納會

平警署士用武道納會は十八日午後一時から同署道場に於て開催されると